

養 蚕 新 論 坤

復刊版



群馬地域文化振興会

養蠶新論卷之三

上毛 田嶋邦寧 著

蠶品論

蠶ニ數品アリ。黒蠶ト曰アリ。白蠶ト曰アリ。泥蠶ト曰アリ。黄足ト曰アリ。繭ニ亦數品アリ。黄繭ナリ。白繭ナリ。大繭ナリ。小繭ナリ。繭大ニシテ蟲小ナルアリ。繭小ニシテ蟲大ナルアリ。又綿繭ト曰アリ。オカニ一繭ヲ作ルニ十頭十五頭群集シテ一大繭ヲ作ルナリ。是ハ綿ノミニスルナリ。其之ヲ養フニ至ツテハ太ダ易シ。越中邊ニテハ今ニ

養蠶新論卷之三
田嶋邦寧著

至ツテ猶之ヲ養フト云フ顧フニ三十年前ハ白
繭ノミ流行シ尤モ大巢トテ繭ノ大ナルヲ好メ
リ既ニシテ近時ハ黃繭ノミ盛ニ行ハレリ蓋
白繭衰ヘテ黃繭ノミ盛ニ成シモ天運循環ノ
理ニシテ人事ヲ以テ量ルベカラズト雖モ亦自
ラ其數アツテ存スルナルベシ明治己己ノ歲横
濱ニ留寓セシイタリヤ人ヲラツトナル者亞米
利加ノ蠶種ナリトテ西洋紙ニテ我が種紙様ナ
ルモノ一枚ヲ持シ來テ予ニ贈リ之ヲ養テ種ニ
制シ見ヨト云ヘリ之ヲ視ルニ其種粒大ニシテ

重ナリ合ヒ。脱落多クシテ潤澤ノ氣ナク。先ヅハ
下等ノ種ト覺ヘリ。然レモ慇懃ニ托セラシタル
ナレハ。翌庚午ノ歲慎シテ之ヲ養シ見シニ。其
生化ノ時ハ我國ノ種類ヨリモ蟲大ニシテ勢モ
ヨク。初眠ヨリ四眠マデ同ジ蠶室ニテ養フニ。三
四日モ遅クナリ。愈ヨ庭起ニ桑附テヨリ。三四日
モ過ギテ斃レ始マリ。繭ヲ作ル頃ニハ三分が一
ノミ繭ニ成レリ。繭ノ色ハ茶褐色ト白色ト相半
ハセリ。之ヲ種ニ取ルニ蛾モ大ニシテ種粒モ母
種ノ如シ。乃チ横濱ニ持シ來テ彼ノコヲラツトニ

告ルニ「フラツト」余ニイタリヤコンシールハ直
ニ賣リ渡スベシト云ヘリ。因テコンシールニ贈
ルニ。ファンシール蠶ノ始末ヲ委曲筆記シテ受取
レリ。按スルニ蠶ノ種類ハ蠶キニ論セシ如ク。太
ダ多クシテ指ヲ屈スルニ遑アラス。彼ノリケン
ノ種類ハ所謂大繭ナリ。夫レ繭大ナレバ其性弱
ク。繭小ナレハ其性强シ。故ニ夏蠶ハ繭小ニシテ
絲モ少ケレ。之ヲ養フコトハ至テ易キナリ。又辛
未ノ歳予ガ隣家及ビ鄰村ニテ西洋種ヲ養ヒシ
ニ。予ガ家ニテ養ヒシカ如ク。四眠ノ起キニ至ツ

テ悉ク斃レタリ。是レニ由テ之ヲ觀レハ。子ガ嚮
キニ養ヒシ方法ノ敢テ拙劣ト云フニモ非ザル
ベシ。如此同シ蠶室ニテ養テモ種類ニ由テ異ナ
ル物ナレバ能ク此理ヲ講究シテ養フベキナ
リ。今ヤ世運開化シ。日新ノ學日ニ一日ヨリ盛ン
ニシテ造物モ亦從テ奇品ヲ出セリ。蠶ノ種類モ
日ヲ追テ出ヅベシ。豈其論說一朝一夕ニシテ盡
ス可ンヤ。此ハ特ニ其標的ノミ。

蠶毒論

蠶毒ハ種種アリト雖也。其大略ヲ擧ゲンニハ。藥